

<論文・パワーポイント作成にあたっての注意事項>

本大会にご参加頂くにあたり、論文の作成・提出、要約資料用のパワーポイントを作成して頂きます。作成にあたっては、以下の資料をご確認下さい。

1 論文について

1. フォーマット

フォーマットの構成は以下にならして下さい。

- 表紙
- 目次
- はじめに
- 終わりに
- 参考文献、URL

以下ではそれぞれについて基本的なフォーマットの説明を加えます。

1.1. 全体について

本文のフォントは「MS 明朝」の 10.5 サイズにしてください。

A4 サイズの横書きで、ヨコ 35 文字・タテ 30 行で作成してください。

各ページにページ数を記入し、5 行ごとに行数を入れて下さい。(表紙が 1 ページ目です)

1.2. 表紙

- 1 平成〇〇年度 証券ゼミナール大会
- 2 第〇テーマ「テーマ名」ブロック
- 3 大学名、ゼミナール名、班名

1.3. 目次

論文の構成をお書きください。Word の目次機能を使用して、章、節（、項）の見出しとページ数を表記してください。

目次機能の使用方法はこちらを参照してください。

「Word で目次を作成する」 office support

<https://support.office.com/ja->

[jp/article/word-%E3%81%A7%E7%9B%AE%E6%AC%A1%E3%82%92%E4%BD%9C%E6%88%90%E3%81%99%E3%82%8B-882e8564-0edb-435e-84b5-1d8552ccf0c0](https://support.office.com/ja-jp/article/word-%E3%81%A7%E7%9B%AE%E6%AC%A1%E3%82%92%E4%BD%9C%E6%88%90%E3%81%99%E3%82%8B-882e8564-0edb-435e-84b5-1d8552ccf0c0)

1.4. 図表について

◆ 図表の挿入

論文の中で図表を使用する際には「挿入」→「参照」から「図表番号」を選び番号を付けた上で、図のタイトル、出典を記入してください。

また Excel ファイルなどの図をいくつも貼り付けていくと大変容量が大きくなり、メールで論文を送れなくなる場合がございます。貼り付ける際に「編集」→「形式を選択して貼り付け」→「図（拡張メタファイル）」というやり方で容量を小さくすることを**厳守**してください。

PDF ファイルに変換した際、図表に欠損がないかよくご確認ください。

◆ 図表フォーマット

図表には、以下の 3 点を必ず添えてください。

①図表番号

②図表のタイトル

③出典（例：厚労省(2013)「〇〇〇〇」より作成）

（引用の場合：厚労省(2013)「〇〇〇〇」より引用）

図表とタイトル、出典の間は改行などでページ数が変わってしまうなど不都合が生じる場合を除きなるべく 1 行開けるように心がけて下さい。

1.5. 参考文献

◆ 参考文献の表記方法

・単行本：筆者(出版年)『書名』出版社

・論文：著者(出版年)「論文名」※雑誌論文の場合、『雑誌名』巻号を続ける。

・インターネット情報：著者「サイト名」<URL> 最終アクセス日

※英語文献の場合・・・著者名は倒置して姓名の順。共著の場合、2 人目以降は倒置しない。書名、雑誌名はイタリック体。

《表記例》

・橘木俊詔（1998）『日本の経済格差』岩波書店

・宮尾龍蔵（2009）「日本の設備投資行動：1990 年代以降の不確実性の役割」『金融研究』第 28 巻第 1 号

・岩本康志（2005）「公共投資は役に立っているのか」（大竹文雄編著『応用経済学への誘い』日本評論社）

・総務省「労働力調査」<<http://www.stat.go.jp/data/roudou/>> 2013 年 6 月 10 日アクセス

・Kiyotaki, N., and J. Moore (1997) "Credit Cycles," *Journal of Political Economy*, 105 (2), pp. 211-248.

Rajan, R. (2010) Fault Lines, Princeton University Press.

・ Ariga, K., K. Matsui. (2003) ” Mismeasurement in CPI,” in Structural Impediments to Growth in Japan, ed.by A. Kashyap, et al., University of Chicago Press.

・ Board of Governors of the Federal Reserve System, Federal funds (effective), <<http://www.federalreserve.gov/releases/h15/data.htm>>, 2013年6月10日アクセス

1.6.引用

論文中で著作物から引用した部分は、「」や『』で表し、注釈で出典(著者名・出版年)を明記してください。

1.7.ページ制限

全体のページ数を50枚以下とします。表紙、目次、参考文献の部分は除いて、ページ数をカウントしてください。ページ上限を超えますと減点対象となりますのでご注意ください。

2. 注意事項

1. 必ずすべての資料に目を通してください。
2. 論文内に論文テーマと無関係な内容や個人情報(名前や連絡先)を記載しないでください。
3. 提出期限やページ数制限は厳守してください。提出期限後の、論文の差し替え等は一切受け付けませんのでご了承ください。
4. 論文ファイルの容量は2MB以内に収めてください。容量が2MB以上である場合は再提出となります。
5. 論文提出の際は、**WordファイルとPDFファイルの両方のご提出**をお願い致します。また、PDFファイルに変換した際は、不具合が生じていないかを必ずご確認ください。
6. 論文チェックリストの内容が守られていない場合は減点となりますので、必ずご確認の上ご提出ください。

2. 論文の提出方法について

作成した論文は注意点をよく読み作成して頂いた上で、メールに添付し、下記のアドレスまで送信して下さい。

また、送信先は、参加するテーマによって異なりますので注意して下さい。

第1テーマ 今後の国内証券市場の活性化について

第2テーマ 家計の資産形成手段としての投資信託

→mails12@shougakuren.jp

第3テーマ 日本における金融リテラシーのあり方について

第4テーマ 日本銀行の金融政策と証券市場

→mails34@shougakuren.jp

第5テーマ 機関投資家の投資行動と証券市場

第6テーマ 日本における中小・ベンチャー企業の資金調達について

→mails56@shougakuren.jp

(記載事項)

メールタイトル：証券ゼミナール大会論文提出の件

本文：第○テーマ・大学名・ゼミまたは研究会名

代表者の名前・連絡先（若しくは提出者の名前・連絡先）

提出期限 2018年10月25日(木)～26日(金) 17時まで

※ファイル名は「第○テーマ・大学名・ゼミまたは研究会名」と明記して下さい。

※当日は回線が混雑することが予想されますので、余裕を持って提出して下さい。

提出が遅れた場合、論文の評価に不利益を被る場合がございます。

※送信頂きましたら、当連盟の担当より受領のご連絡を差し上げます。

（確認に時間を頂く場合もありますので、予めご了承下さい）。

※10月29日(月)までに連絡がない場合は、お手数ですがご連絡頂きますようお願いいたします。

※提出された論文は、11月上旬に、証学連HPでの公開を予定しております。

要約資料（パワーポイント）について

討論を始める前に、提出論文の概要をプレゼンテーションして頂きますので、論文の他にパワーポイントで作成した要約資料を用意して下さい。

1. 要約資料作成に係る注意点について

(1) 要約資料の枚数制限はございません。

(2) 要約資料に音声・動画の使用は禁止です。

(3) 要約資料のプレゼンテーションは10分以内で行って頂きます。

※発表時間の配点について

発表時間：9分未満・10分超……………0点

9分以上9分30秒未満……………3点

9分30秒以上10分未満……………5点

(4) 要約資料はMicrosoft PowerPointで作成して下さい。

画面サイズは4:3で作成して下さい。

(5) 要約資料は、各自でUSBメモリでの持ち込みをお願い致します。

事前の提出必要はございません。

※バックアップ用として、要約資料のデータ（パワーポイント）が入った

USBメモリは複数お持ち頂くことを推奨致します。

Ⅲ. 質問票について

今年度は質問票を使用致しません。